

港区教育史の構成について

スケジュールの見直しを受け、成果物は下記のとおりとなりました。

1 港区教育史：『(仮称) 新・港区教育史』(WEB版・書籍版< A 5 >)

※構成案の詳細は別紙②を参照

(1) 通史編

刊行年月：平成 32 年度まで (平成 33 年 3 月)

- ・旧教育史の第 1 章～第 6 章を最大限生かし、新規執筆ではなく検証の上、解題を付す。第 7 章は、昭和 6 0 年頃から平成期にわたる生涯学習時代の港区の教育の歴史を新たに執筆する。

(2) 資料編

刊行年月：平成 32 年度まで (平成 33 年 3 月)

- ・港区の教育に関する統計資料や各種データ等を取りまとめ、掲載する。

(3) くらしと教育編

刊行年月：平成 34 年度まで (平成 35 年 3 月)

- ・調査を通じて新たに確認された史実に基づき、広く区民に手に取ってもらえる港区の教育史を主題別に新規執筆する。
- ・子どもや保護者、地域の方々の視点から再確認できるような内容とする。

2 資料でみる普及版：『(仮称) 資料でみる港区の教育』(WEB版)

公開年月：平成 31 年度まで (平成 32 年 3 月)

- ・港区の教育の歴史を写真・図表などの資料を中心に視覚的に紹介する。
- ・区民が身近に感じられる、分かりやすく親しみやすい内容とする。
- ・I C T等を用いた授業の教材としても活用できる内容とする。
- ・港区の教育に関する歴史資料をデジタル化してWEBに搭載し、区民が資料を通じて港区の教育の歩みについて学び、調べることができる環境を構築する。
- ・WEB版の特性を活かし、継続的に更新可能なしくみとする。

※下線部が変更箇所です。